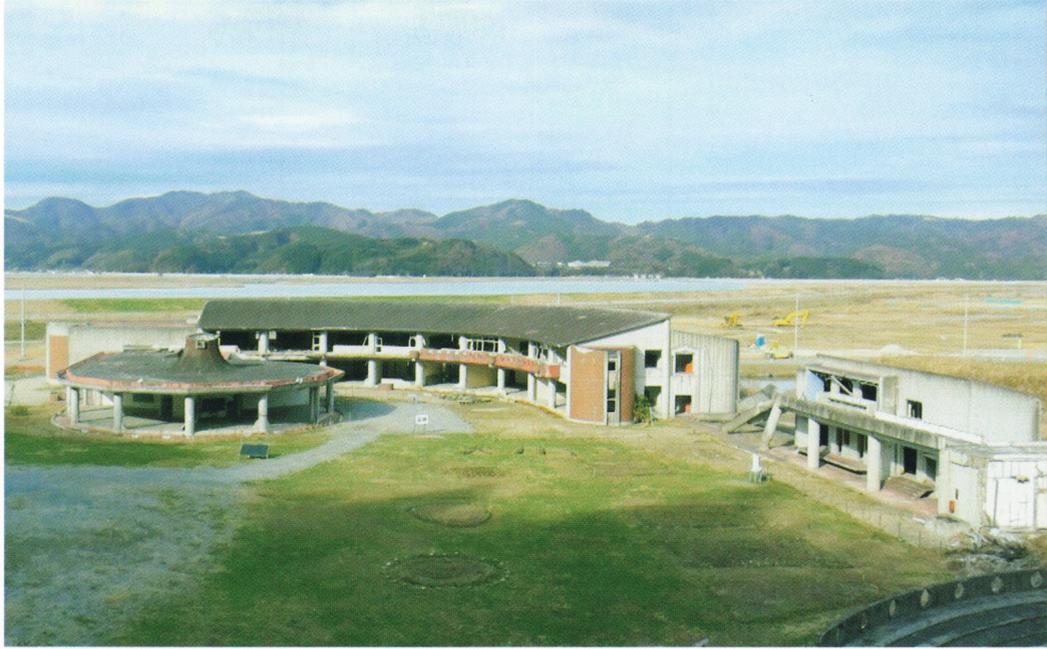


いまはもう会えないあなたに語りかける、3つの手紙



2019年、宮城県石巻市大川地区で撮られた2本の映画。
1996年生まれ映画作家が、自身の体験をもとに
フィクションとドキュメンタリーの手法で描いた“その後の私たち”。
各地の自主上映会で評判を呼んだ映画が、満を持して劇場初公開。

併映：『春をかさねて』

あなたの瞳に 話せたら

If These Letters Reach Your Eyes



監督・撮影・録音・編集：佐藤そのみ

日本大学芸術学部映画学科 2019年度卒業制作
東京ドキュメンタリー映画祭2020 短編部門「準グランプリ」「観客賞」受賞作
イメージフォーラム・フェスティバル2020「ヤング・パースペクティヴ2020」入選作

新進気鋭の映画作家が見澄ます、時間の経過と、言葉にしがたい感情の動き。
全国各地の反響を経て、この2つの小さな映画が、満を持して劇場初公開

たとえ震災のような大変な経験がなくとも、
人が生きてゆくというそのことだけでも大変で、
そのなかで自分の感受性を正確につかむことは難しく、
その感受性が表現に結実していることに驚きました。
ただただ「花が花の本性をそのまま開花させる」という、
素朴であるのにもっとも難しい表現に触れたと感じました。

今村純子

(美学・表象文化論／立教大学特任教授)



春をかさねて

「妹さんの安否を知ったときのこと、教えていただけますか」
14歳の祐未は、被災地を訪れるたくさんの方のマスコミからの取材に
気丈に応じている。一方で、同じく妹を亡くした幼馴染・れいは、東京から
やってきたボランティアの大学生へ恋心を抱き、メイクを始めた。ある放課後、
祐未はそんな彼女への嫌悪感を吐露してしまう。2人の女子中学生の繊細な心の
揺れを瑞々しく描き出すフィクション。震災遺構として現在は立入禁止となっ
ている大川小学校などで撮影された。

製作・監督・脚本・編集/佐藤そのみ 撮影/織田知樹 李秋実 録音/養田司 中津葵 工藤忠三
出演/齋藤小枝 齋藤桂花 齋藤由佳里 芝原弘 秋山大地 安田弥央 幹miki 鈴木典行
2019年/日本/カラー/45分

あなたの瞳に話せたら

東日本大震災による津波で児童74名・教職員10名が犠牲になっ
た石巻市立大川小学校。大川小で友人や家族を亡くした当
時の子どもたちは、あれから何を感じ、どのように生きてきたの
か。それぞれが故人に宛てた手紙を織り交ぜながら、自身も遺族
である「私」がカメラを持って向き合う。震災から8年半、時間が
変えたものと変わらないもの。書簡形式のナレーションで素朴に
語られる言葉に宿る、やわらかな感性に胸を打たれる。

・日本大学芸術学部映画学科 2019年度卒業制作
・東京ドキュメンタリー映画祭2020 短編部門「準グランプリ」「観客賞」受賞作
・イメージフォーラム・フェスティバル2020「ヤング・パースペクティブ2020」入選作

監督・撮影・録音・編集/佐藤そのみ
2019年/日本/カラー/29分/ドキュメンタリー

監督は、宮城県石巻市出身の映画作家・佐藤そのみ。1996年生まれ。幼少期から故郷を舞台にした映画を撮りたいと心に決めて、
大学で映画を学んだ。2011年3月11日に起きた東日本大震災。そこから8年後の2019年、大学の友人や地元の人たちの協力を得
て、石巻市大川地区でこの2つの中編を撮影する。それまで被災者の一人として取材を受ける立場だった佐藤が、「描かれるのでは
なく、描きたかった」と自ら脚本を書きカメラを携えて完成させたこれらの映画は、配給・公開の予定もないまま、2021年より全国
各地からの要望に応える形で30か所以上で自主上映会をおこなううちに評判を呼び、ついに今回が初の劇場公開となる。

haruanata.com @aruharufilm

12/7(土)~12/27(金)

3週間限定ロードショー

特別鑑賞券 1,500円(税込)発売中

[シアター]
イメージフォーラム

全席指定/オンライン予約あり

03-5766-0114
www.imageforum.co.jp



[渋谷駅より徒歩8分 宮益坂上がり、
青山通り表参道方面一ツ目の信号右入る]